

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00843)

事務事業名称	区制施行周年記念事業				款	02	項	01	目	06	事業	007	整理番号	034	
現担当課名	総務課		係名	総務係		連絡先電話番号	1434		昨年度整理番号						
上位施策No・施策名	28 次世代への歴史・文化の継承								予算事業区分	臨時事業					
事業開始	令和 3年度	実行計画事業	目標	08	施策	28	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	総務課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民等	根拠法令等	(1) (2)	杉並区区制施行 90 周年記念事業推進本部設置要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	「90 周年の節目を区と区民が一体となって祝う」とともに、「その先の 100 周年を見据え」、「次世代に区のこれまでの歩みを継承」し、「区民の愛郷心を醸成」する。		活動指標	記念式典の参加者数
		指標名 (1)	指標説明	
		指標名 (2)	指標説明	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	記念式典を開催する。 すぎなみ5ストーリーズ事業を実施する。 記念誌の制作・発行、記念曲の制作等を行う。		成果指標	
		指標名 (1)	指標説明	
		指標名 (2)	指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 人		0	0	1,000	602	0	60.2	90.1
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円		0	0	57,148	51,481	0	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	0	0	0	18,383	0		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円		0	0	57,148	69,864	0		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	0	0	0	57,148	69,864	0	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 034

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並区区制施行90周年記念事業の実施			51,481
	その他 ()			
取組成果	<p>「内田秀五郎のしごと」、「原水爆禁止署名運動」、「東京高円寺阿波おどり」、「東京ごみ戦争」、「3.11自治体スクラム支援等の活動」をすぎなみ5ストーリーズとして、浪曲・演劇公演、映像化、教材の制作などの様々な手法により、後世への継承に努めました。</p> <p>また、令和4年10月1日に区制施行90周年記念式典を開催するとともに、パネル展示や記念誌の制作などにより、区の歴史・文化情報の発信に努めました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	今後、区制施行100周年に向け、これまでの区の歴史や出来事などを区民に継承していくため、区史の編さんや資料のデジタル化など、区の貴重な文化財産を記録・保存していくことが求められており、その手法を検討する必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	区制施行90周年事業において、すぎなみ5ストーリーズ事業を実施するうえで、当時を知る関係者の高齢化等により、情報収集に時間を要しました。区制施行100周年事業を実施する際は、さらに情報の確認、入手、保存が困難になることが想定されます。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	今回の記念事業では、区の90年の歴史の中で区民や区にとりわけ大きな影響を与えた5つの出来事、「内田秀五郎のしごと」、「原水爆禁止署名運動」、「東京高円寺阿波おどり」、「東京ごみ戦争」、「3.11自治体スクラム支援等の活動」を、すぎなみ5ストーリーズ事業として取り上げました。それぞれのイベントのみならず、記念式典においても、すぎなみ5ストーリーズの演目は、式典の参加応募者数が多かったことや参加者から非常に好評であったことから、事業の目的に照らし、効果が高いものとなりました。
事業の方向性・改善策	区制施行100周年に向けて、早い段階で検討を始め、区民や郷土史会、学識経験者などの協力を得ながら、計画的に実施事業の内容を決めていく必要があります。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	区制100周年に向けて、計画的に実施事業の検討を進めます。なお、この事業は令和4年度で終了します。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00521)

事務事業名称	文化財調査・保護				款 07 項 04 目 01 事業 005	整理番号	507	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	文化財係		連絡先電話番号	1666	昨年度整理番号	505
上位施策No・施策名	28 次世代への歴史・文化の継承				予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和57年度	実行計画事業	目標 08	施策 28	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分	一般		

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般	根拠法令等 (1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できるようにする。	活動指標 指標名 (1) 埋蔵文化財窓口照会件数 指標説明 窓口で埋蔵文化財の包蔵地の照会を行った件数 指標名 (2) 杉並区文化財指定登録総件数 指標説明 杉並区文化財を指定登録した件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	文化財調査を進め、必要と認められたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存する。また、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報提供を進める。さらには区内団体などと協働し、文化財の公開・活用に努める。埋蔵文化財の適切な保護・保存を図るため、埋蔵文化財調査を実施する。国の史跡指定を受けた荻外荘の一般公開に向け、近衛文麿関係資料等の定期的な調査を実施する。	成果指標 指標名 (1) 埋蔵文化財調査延べ日数 指標説明 埋蔵文化財調査を行った延べ日数【社会】 指標名 (2) 杉並区文化財保護奨励金の交付件数 指標説明 文化財所有者に文化財保護奨励金を交付した件数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	3,464	3,500	3,452	3,500	2,846	3,500	81.3	96.1
活動指標 (2)	2 件	150	151	150	151	151	152	100.0	
成果指標 (1)	3 日	268	300	304	300	196	300	65.3	
成果指標 (2)	4 件	112	112	111	111	111	112	100.0	
事業費	5 千円	17,703	12,435	10,893	17,719	17,028	96,207	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	22,669	21,914	22,112	21,647	22,216	24,954	令和4年度は、学校改築などの大規模な工事に伴う埋蔵文化財調査が少なかったため、埋蔵文化財調査日数が減少しました。文化財資料を製作したため、事業費が増額となりました。
	上記以外の職員	7 千円	18,140	18,140	18,375	18,375	18,390	18,390	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	58,512	52,489	51,380	57,741	57,634	139,551		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	5,796	3,000	2,550	2,700	814	2,700	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,796	3,000	2,550	2,700	814	2,700	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	52,716	49,489	48,830	55,041	56,820	136,851	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 507

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	埋蔵文化財調査委託	3	件	3,088
	指定登録文化財保護奨励	111	件	1,720
	文化財案内標示板等作成・修理	8	基	1,045
	陽明文庫紹介映像制作	1	件	4,000
	その他 (文化財保護審議会の運営、文化財ボランティア活動、刊行物発行他)			7,175
取組成果	<p>荻外荘の公開に向けて、陽明文庫所蔵の近衛家関係資料について、陽明文庫と共同で年4回調査しました。また、陽明文庫紹介映像を製作しました。</p> <p>「尾崎喜八関係資料 (ガラス乾板 附ネガフィルム) 」を文化財として新たに指定しました。</p> <p>平成22年度、平成27年度に文化財に指定した「向方南遺跡出土縄文時代遺物」に、87点の出土遺物を追加して指定しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>文化財散歩を趣味にする方の声に応えるために昭和58年から発行している「杉並区史跡散歩地図」は好評です。より多くの方が「杉並区史跡散歩地図」を活用し、文化財に親しむことができるよう内容の充実を図ります。</p> <p>区内に設置している多くの文化財案内表示板に経年劣化が見られるため、令和5年度に、設置から長期間経過した文化財案内表示板の建て替えを行います。</p> <p>建築工事等に伴い、埋蔵文化財の調査を行っています。出土した遺物は、文化財保護法により保存する必要がありますが、保管場所の確保が課題となっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>文化財案内標示板120基の建て替えについては、7月までに各案内板の調査を終え、8月に業者との委託契約を締結しました。</p> <p>区指定有形民俗文化財「板絵着色老翁奇端の図」レプリカ製作については、5月に委託契約を締結しました。来年3月の完成に向けて、進捗管理を行います。</p> <p>史跡散歩地図は、昨年度に指定した文化財の解説などを加えて作成しています。</p> <p>文化財保護審議会の開催や、文化財保護ボランティア活動も進めています。</p> <p>令和5年度は現在のところ予算内で執行できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>荻外荘の復原整備工事は、令和4年度に着手し、令和6年10月に完了、同12月に一般公開する予定です。他部門と連携し、工事の進捗管理を行います。文化財部門では、令和6年12月までに展示物及び展示設備の製作業務を進めます。また荻外荘の復原整備や展示に向けて、陽明文庫が所蔵する荻外荘関連の資料調査を実施します。</p> <p>区内の文化財の保護・活用を推進するために、必要な調査を実施し、文化財の指定・登録を進めます。また郷土博物館と協力し、文化財保護ボランティア活動の拡充につなげます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>荻外荘に関連する資料調査は、陽明文庫の協力により引き続き実施します。</p> <p>文化財保護ボランティアが継続的な活動を進めていけるよう、研修会の実施や情報提供、活動の機会の提供に努めていきます。</p> <p>令和5年度に老朽化した文化財案内標示板120基の建て替えを実施します。令和6年度からは残りの文化財案内標示板や、まだ着手していない標柱の建て替えを計画的に実施します。</p> <p>個人住宅の建築等に伴う埋蔵文化財調査は、国や都の補助金を活用して実施します。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00527)

事務事業名称	郷土博物館の運営管理				款	07	項	04	目	01	事業	011	整理番号	509
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館		連絡先電話番号	3317-0841			昨年度整理番号	507			
上位施策No・施策名	28 次世代への歴史・文化の継承								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標	08	施策	28	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 4年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	一般区民、自主活動団体等	根拠法令等	(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解を高め、愛着心の向上を図る。	活動指標	企画展・講座・教室等事業実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託を行う。展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事を実施する。学校教育等への支援・連携を行う。研究紀要等を発行する。	指標名 (1)	収蔵資料総数
		指標説明	
		成果指標	郷土博物館の観覧者数
		指標名 (1)	郷土博物館の来館者数及び出前型事業の来場者数【行政】
		指標説明	来館者の満足度
		指標名 (2)	来館者へのアンケート結果 (満足を3、普通を2、不満を1とした平均点)【区民】
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 (1)	1 回	29	50	26	50	40	40	80.0	95.0		
活動指標 (2)	2 点	146,051	147,000	147,112	147,500	147,479	147,800	100.0			
成果指標 (1)	3 人	23,445	30,000	27,744	30,000	30,915	31,000	103.1			
成果指標 (2)	4 点	2.8	3.0	2.7	3.0	2.8	3.0	93.3			
事業費	5 千円	9,260	12,140	10,469	13,255	12,594	13,175	特記事項			
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	45,263	26,822	27,190	25,029	23,873	24,954	令和3年度は、郷土博物館臨時休館を含むBCP発動に伴う企画展の中止による執行残がありました。令和4年度は企画展の中止がなく、さらに、特別展が区制施行90周年を記念した展覧会でありより多くの経費を掛けたため、事業費が10%以上増加しています。		
	上記以外の職員	7 千円	32,652	32,652	33,075	36,750	35,529	36,780			
総事業費 (5+6+7)	8 千円	87,175	71,614	70,734	75,034	71,996	74,909				
財源	受益者負担分	9 千円	1,198	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0			
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0			
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,198	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	85,977	71,614	70,734	75,034	71,996	74,909				

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 509

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	特別展・企画展・講座・教室等の開催	40	回	10,299
	郷土博物館運営協議会の開催	4	回	394
	博物館事業の運営管理	2	所	1,901
	その他 ()			
取組成果	<p>令和4年9月から10月にかけて、区制施行90周年を記念した展覧会を本館と分館で同時開催しました。本館では、「2.26事件と渡邊錠太郎」、「荻外荘と近衛文麿」、「愛新覚羅溥儀と嵯峨浩」の3テーマに関する資料展示や講演会、映画会などを行い、約3,000人の観覧者を迎えました。分館では、内田秀五郎に関する展示を行い、約2,000人の観覧者を迎えました。そのほか、企画展や出前型展示など、12回の展覧会を開催し、年間を通じた観覧者数は目標値の30,000人を超えました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区民に、杉並の歴史と文化を知る機会の提供と郷土への愛着心を高めてもらうために様々な博物館活動を行い、令和4年度は、目標とした観覧者数30,000人を達成しました。ただし、新型コロナウイルス感染症発生前の数年間と比べ、さらなる観覧者数増を実現する余地があります。そのためにも、これまで以上に区民の目線に立った展示企画や広報活動を行う必要があります。また、アンケート結果によれば、展示への満足度に対して概ね高い評価を受けていますが、交通の便や案内表示に不満の声もあり、より分かりやすい案内表示も検討する必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>収蔵資料については、安定的な資料収集を今後も維持するための課題として、収蔵スペースの不足が挙げられます。現時点で収蔵庫は飽和状態に達しつつあります。安定的な収集を見据えた収蔵スペースの確保を検討しつつ、現在収蔵されている資料の点検や調査も行い展示などに有効活用できるよう取り組みます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>区民に杉並の歴史と文化を知る機会を提供し郷土への愛着心を高めてもらうため、企画展、準常設展、出前型展示の開催、講座・教室等事業を、計12回実施しました。夏の企画展「昆虫展 inすぎなみ2023」は子どもを中心に来場者平均100人超/日を記録し、8月末で分館を含めて来館者数は約1万人に達しています。また、出前型展示は、永福図書館でガラス陶芸家淡島雅吉のパネル展を実施しました。7月末時点のアンケート結果は、目標値3 (満足) に対し2.8と継続して高い評価を受けており、課題である交通の便への不満は11.3%、案内表示への不満は2.5%でした。予算執行率は約35%ですが、年度末までに100%近くを見込んでいます。飽和状態にある収蔵庫は、収蔵資料を厳選して受入れているものの増加しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>観覧者数は、現時点では昨年度と同程度の数値です。さらに歴史・文化に親しむ機会を充実させ、博物館へより多くの人に来館してもらえよう、年度後半には特別展、準常設展、春季企画展や各種年中行事、体験教室、伝統芸能等の事業を実施予定です。また、博物館への興味を持ってもらい、来館の契機にしてもらうため、展示の動画などの発信・充実にも力を入れ、魅力のある博物館を目指していきます。アンケート結果については、交通の便と案内表示への不満が一定数存在するため、より分かりやすい周知について検討します。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度は荻外荘の復原公開に合わせた特別展「陽明文庫名品展 2」(仮称)を予定しています。陽明文庫の貴重な資料を多数運搬・展示する必要があること等から、通常の特別展より多くの経費がかかることが予想されます。</p> <p>博物館法改正に伴う区条例の規定整備により、学芸員の研修とデジタルアーカイブ化について力をいれる必要があります。デジタルアーカイブ化は順次計画を進める予定ですが、令和6年度は、図書館等関係各課との検討を進めます。</p> <p>また、歴史・文化に親しむ機会を広く提供するため、広報媒体として、チラシ・ポスター、HP、広報すぎなみ、SNSの宣伝効果を検証して精査する一方、展示の動画配信なども行う予定であり、経費の増が見込まれます。</p>	